

災害対策特別委員会

委員一覧（20名）

委員長	一川 保夫（民主）	鈴木 陽悦（民主）	末松 信介（自民）
理事	高橋 千秋（民主）	広田 一（民主）	塚田 一郎（自民）
理事	森 ゆうこ（民主）	藤谷 光信（民主）	山田 俊男（自民）
理事	加治屋 義人（自民）	山根 隆治（民主）	西田 実仁（公明）
理事	神取 忍（自民）	吉川 沙織（民主）	山本 博司（公明）
	青木 愛（民主）	佐藤 信秋（自民）	仁比 聡平（共産）
	郡司 彰（民主）	佐藤 正久（自民）	

(20. 9. 24 現在)

（1）審議概観

第170回国会において、本特別委員会に付託された法律案及び請願はなかった。

〔国政調査等〕

第169回国会閉会後の**7月2日**、平成20年岩手・宮城内陸地震による被害状況及び復旧状況等の実情調査のため、岩手県及び宮城県に委員派遣を行った。

8月7日、平成20年7月28日の大雨による被害状況及び平成19年能登半島地震の被災地における復興状況等の実情調査のため、石川県に委員派遣を行った。

9月12日、前記委員派遣について、派遣委員からそれぞれ報告を聴取した。

また、7月24日の岩手県沿岸北部を震源とする地震、7月28日からの大雨及び平成20年8月末豪雨の被害状況及びその対応について、林内閣府特命担当大臣（防災担当大臣）から報告を聴取した後、質疑を行い、局地的集中豪雨に対応するための治水計画・ハザードマップ見直しの必要性、気象庁における局地的豪雨予報モデルの開発見通し、気象情報に対応した河川防災システム整備の必要性、各市町村における避難勧告・指示の発令基準の策定状況、災害時要援護者の

支援と個人情報保護の在り方、被災者生活再建支援制度における被害認定の在り方、岩手・宮城内陸地震を踏まえた国内の活断層調査の推進、地震による中山間地域の孤立集落対策、岩手・宮城内陸地震発生後の政府の対応とその評価、同地震に係る緊急地震速報の評価と課題、雨水貯留浸透施設の設置などによる都市型水害対策の改善の必要性、中央防災会議による大規模水害の被害予測と被害軽減策などの諸問題が取り上げられた。

(2) 委員会経過

○平成20年9月12日(金)(第169回国会閉会後第1回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 派遣委員から報告を聴いた。
- 7月24日の岩手県沿岸北部を震源とする地震、7月28日からの大雨及び平成20年8月末豪雨の被害状況及びその対応について林内閣府特命担当大臣から報告を聴いた。
- 局地的な集中豪雨対策に関する件、災害時の避難勧告等の判断・伝達基準に関する件、災害時要援護者の避難支援対策に関する件、被災者生活再建支援制度の被害認定に関する件、平成20年岩手・宮城内陸地震の教訓を踏まえた今後の地震対策に関する件、大規模水害対策に関する件等について林内閣府特命担当大臣、金子国土交通副大臣及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

高橋千秋君(民主)、森ゆうこ君(民主)、
佐藤正久君(自民)、西田実仁君(公明)、
井上哲士君(共産)

○平成20年9月24日(水)(第1回)

- 特別委員長を選任した後、理事を選任した。

○平成20年11月21日(金)(第2回)

- 理事の補欠選任を行った。

○平成20年12月24日(水)(第3回)

- 災害対策樹立に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。
- 閉会中における委員派遣については委員長に一任することに決定した。

委員派遣

○平成20年7月2日(水)

- 平成20年岩手・宮城内陸地震による被害状況及び復旧状況等の実情調査

〔派遣地〕

岩手県、宮城県

〔派遣委員〕

一川保夫君(民主)、高橋千秋君(民主)、
森ゆうこ君(民主)、加治屋義人君(自民)、
神取忍君(自民)、渡辺孝男君(公明)、紙
智子君(共産)

○平成20年8月7日(木)

- 平成20年7月28日の大雨による被害状況及び平成19年能登半島地震の被災地における復興状況等の実情調査

〔派遣地〕

石川県

〔派遣委員〕

一川保夫君(民主)、高橋千秋君(民主)、
森ゆうこ君(民主)、神取忍君(自民)、
井上哲士君(共産)